

# なし管理情報 No.6

令和5年7月14日  
下野方梨組合  
魚津市農業協同組合  
富山県新川農林振興センター



## 1. 「幸水」の生育概況

- ・満開96日後(7/13)の横径は、65.7mmと前年並みで、平年よりやや不良(前年比99、平年比97)。肥大最盛期は、平年より遅い7/5から始まった。
- ・裂果は、7月中旬頃から発生し始め、発生は少ないが樹勢の弱い樹でやや多い(7月13日時点)。

## 2 病害虫防除

### <発生状況>

- ・黒星病：発生は少ないが、一部園地で多い。
- ・赤星病：発生は少ない。
- ・ナシヒメシンクイ：第2世代のトラップへの誘殺数は平年より多く、発生が多い。
- ・チャバネアオカメムシ：トラップへの誘殺数は、多発年(R2)に比べ少ない。

### <薬剤防除>

回数	散布時期の目安	散布薬剤と希釈倍率	10a当り散布量	対象病害虫	実施日(自己記入)
-	7/15~16	<b>ナシヒメコンの設置</b>	50本/10a	ナシヒメシンクイ	
特散	7/16~18	(黒星病の発生が多い園地) <b>ミギ720フロアブル</b> 4,000倍	350 <sup>㍓</sup>	黒星病	
13	7/23~25	<b>オーソサイド水和剤80</b> 1,000倍 (収穫3日前まで) <b>スタークル顆粒水溶剤</b> 2,000倍 (収穫前日まで)	350 <sup>㍓</sup>	黒星病、輪紋病 シンクイムシ類、カメムシ類、ケムシ類、コナカイガラムシ類、アブラムシ類	
特散	<u>ハダニ類発生時</u>	<b>マイトコーネフロアブル</b> 1,000倍 (収穫前日まで)	350 <sup>㍓</sup>	ハダニ類	
特散	8月上旬頃(幸水収穫前) <u>シンクイムシ類、カメムシ類の被害が予想される場合</u>	<b>アグロスリン水和剤</b> 2,000倍 (収穫前日まで) または <b>サムコルフロアブル10</b> 5,000倍 (収穫前日まで) <b>★ハダニ類の発生が見られる園では、アグロスリン水和剤は散布しない。</b> (ハダニ類の天敵に影響があるため)	350 <sup>㍓</sup>	シンクイムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類、ケムシ類	

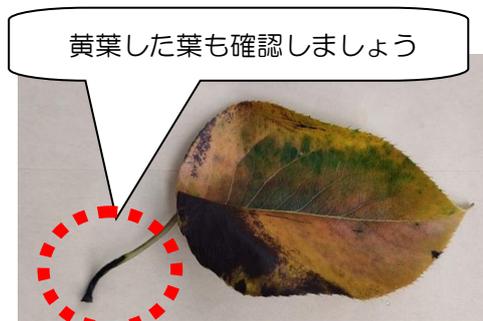
※オーソサイド水和剤80の散布は収穫3日前までであり、「新水」等の収穫開始時期に留意してください。

## (1) 黒星病対策

- ・現在、「幸水」の果実が黒星病に感染しやすい肥大最盛期に入っている。肥大最盛期が終わるまで（13回目まで）の散布間隔は、7～10日間を目安に降雨前散布を心掛け、十分量を散布したうえで、以下の対策を徹底する。

### ① 罹病果・罹病葉の処分（重要！）

- ・黒星病は、降雨後15日程度の潜伏期間を経て発病することから、黒星病が発生している園地では、収穫まで園地を見回り、罹病果、罹病葉の摘み取りを徹底する。



### ② 園地周囲の補正散布

- ・SSによる防除は園地外周部に死角が起きやすいため、補正散布を徹底する。

## (2) 木材腐朽菌対策

- ・なし樹にきのこ（子実体）の発生を確認した場合は、早めにきのこを除去して園地外で処分し、きのこからの胞子の飛散を防ぐ。
- ・腐朽部分は、削り取り、保護殺菌剤を塗布する。

## (3) シンクイムシ類対策

### ① ナシヒメコンの設置

- ・設置方法はコンフューザーNと同様。外装のアルミフィルムを開封したまま放置すると有効成分が揮散するため、必ず使用直前に開封し、使い切る。

### ② 殺虫剤の特別散布

- ・今年は、ナシヒメシンクイのトラップへの誘殺が平年より多いことから、「幸水」収穫前後に殺虫剤の特別散布を実施する。  
※薬剤は、他の害虫の発生状況に応じて選択する。

## (4) ハダニ類対策

- ・ハダニ類は、高温乾燥条件で急激に増える。
- ・ハダニ類の発生を見つけ次第、マイトコーネフロアブル（1,000倍、収穫前日まで、1回）を特別散布する。  
※マイトコーネフロアブルは、サムコルフロアブル10と混用可能

- ・農薬散布時は、近隣に告知するとともに、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないように十分注意してください。
- ・また、使用前に農薬ラベルの登録内容をよく確認して使用してください。

### 3. 今後の管理ポイント

#### 【収穫準備】

- ・今年の「幸水」の収穫開始は、8月上旬頃と予想され、前年、平年より早いと見込まれる。収穫予定の1週間ほど前から試し取りを行い、自園地の収穫適期の把握に努める。

#### 【着果管理】

- ・着果量が多い樹は、裂果の程度を確認しながら、補正摘果で着果量を調整する。

#### 【新梢管理】

- ・予備枝や陰芽から発生した新梢は、7月（新梢伸長停止後）に誘引し、花芽の着生を図る。ただし、着果不足等で新梢の伸長が旺盛な樹は、芽かきや夏季剪定を行い、受光環境を良好に保つ。

#### 【土壌水分管理】

- ・高温乾燥状態が続く場合は、ほ場が乾燥しすぎないように5～7日間隔で朝夕の涼しい時間帯にかん水を行う。なお、「幸水」の収穫期に近づいてからのかん水は、糖度低下の懸念があるため控える。

#### 【強風対策】

- ・台風による強風に備え、防風網、果樹棚等の点検、補強を行う。

#### 【今後の気象】

- ・向こう1ヶ月（7/15～8/14）は、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込みで、気温は平年に比べ高い、降水量は平年並み～多い、日照時間は平年並みと予報されている（新潟地方気象台7月13日発表）。台風を含めた今後の気象情報に注意し、天候に応じた対策を実施する。

### 4. 熱中症対策

- ・極力、気温の高い時間帯の作業を避ける。
- ・こまめな水分補給と休憩をとる。
- ・保冷剤などの熱中症対策アイテムを利用し、からだの蓄熱を避ける。

#### <お知らせ①>

- ・収穫直前の黒星病の全園地調査を7月末～8月上旬に行います。

#### <お知らせ②>

- ・次号は、8月下旬（幸水の収穫終盤）の発行を予定しています。